平時の備え

地域の災害リスクを確認しよう

札幌市浸水ハザードマップ 内水氾濫 洪水 土砂災害

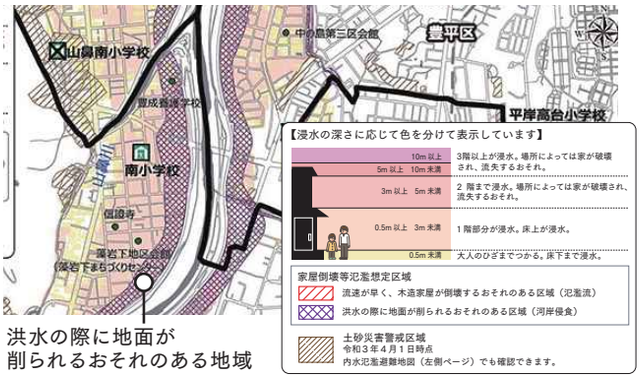
内水氾濫や洪水のおそれがある区域や、避難場所などを示しています。
また、自宅周辺の浸水想定などに応じた避難行動をチェックフローで確認することができます。

札幌市 浸水ハザードマップ

内水氾濫 下水道で雨を排水しきれず発生する浸水を想定



洪水 大雨により川が氾濫することで発生する浸水を想定



洪水の際に地面が
削られるおそれのある地域

札幌市土砂災害ハザードマップ 土砂災害

土砂災害警戒区域などが指定されている地域(連合町内会単位)には、土砂災害ハザードマップを作成しています。警戒区域や避難所などの位置をよりわかりやすく確認できます。

札幌市 土砂災害ハザードマップ

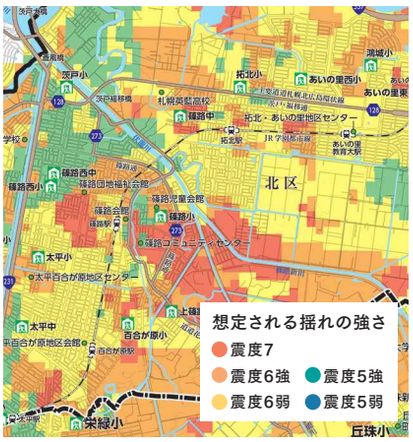


札幌市地震防災マップ 地震

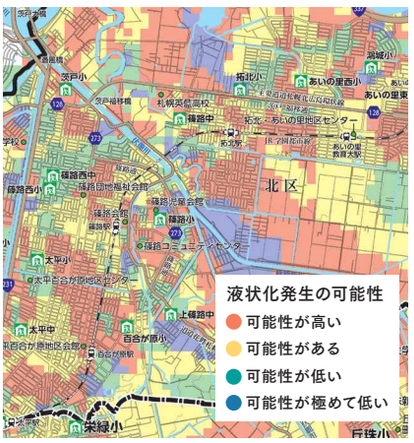
札幌市で想定される最大規模の地震について、「震度分布(揺れの強さ)」「液状化危険度」「家屋全壊率」を確認できます。

札幌市 地震防災マップ

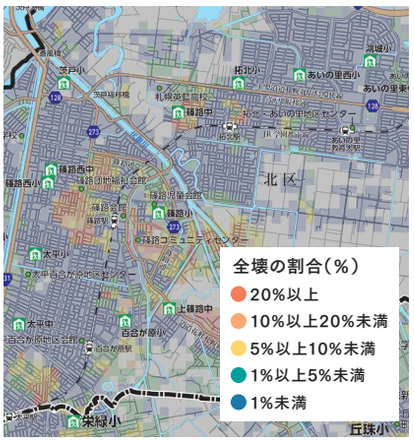
震度分布(揺れの強さ)



液状化危険度



家屋全壊率



さっぽろ防災ポータル

災害情報などを集約している「さっぽろ防災ポータル」でも、
災害ごとのハザードマップを拡大して見ることができます。

さっぽろ防災ポータル

ハザードマップ



札幌市防災アプリ「そなえ」

スマートフォン向け防災アプリです。
緊急情報がプッシュ通知されるほか、避難場所の情報や
日ごろからの備えについても確認できます。

札幌市　防災アプリ そなえ



札幌市内避難場所検索



非常持ち出し品チェックリスト



SOS通知機能



各種マップの配布場所　各区役所、危機管理局（市役所7階）

平時の備え

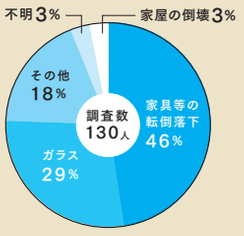
自宅の安全対策

自宅の安全対策は命を守る備えです

家の倒壊や転倒する家具の下敷きになったり、閉じ込められたりしないためには、「住宅の耐震化」「家具の固定」が大切です。自力で脱出できなくなると火災に巻き込まれたり、真冬には低体温症で命を落とす危険があります。

防災コラム 阪神・淡路大震災で怪我をした人の原因

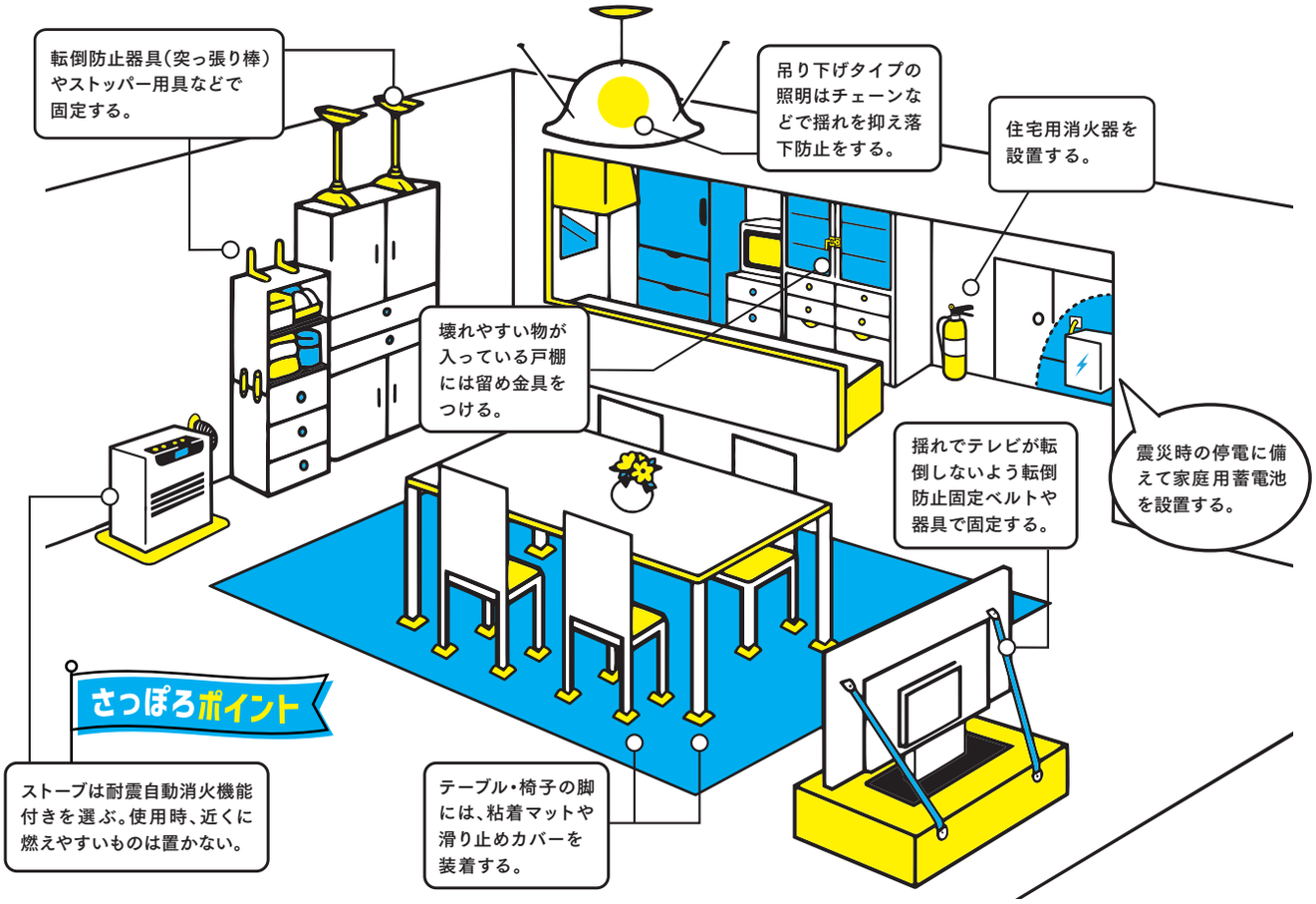
平成7年の阪神・淡路大震災で死亡した人の約8割は、倒壊した建物が原因で亡くなっています。また、建物の倒壊をまぬがれた場合でも、倒れてきた家具や割れたガラスが原因で多くの人が負傷しました。



内部被害による怪我の原因

日本建築学会「阪神淡路大震災住宅内部被害調査報告書」より

室内の備え



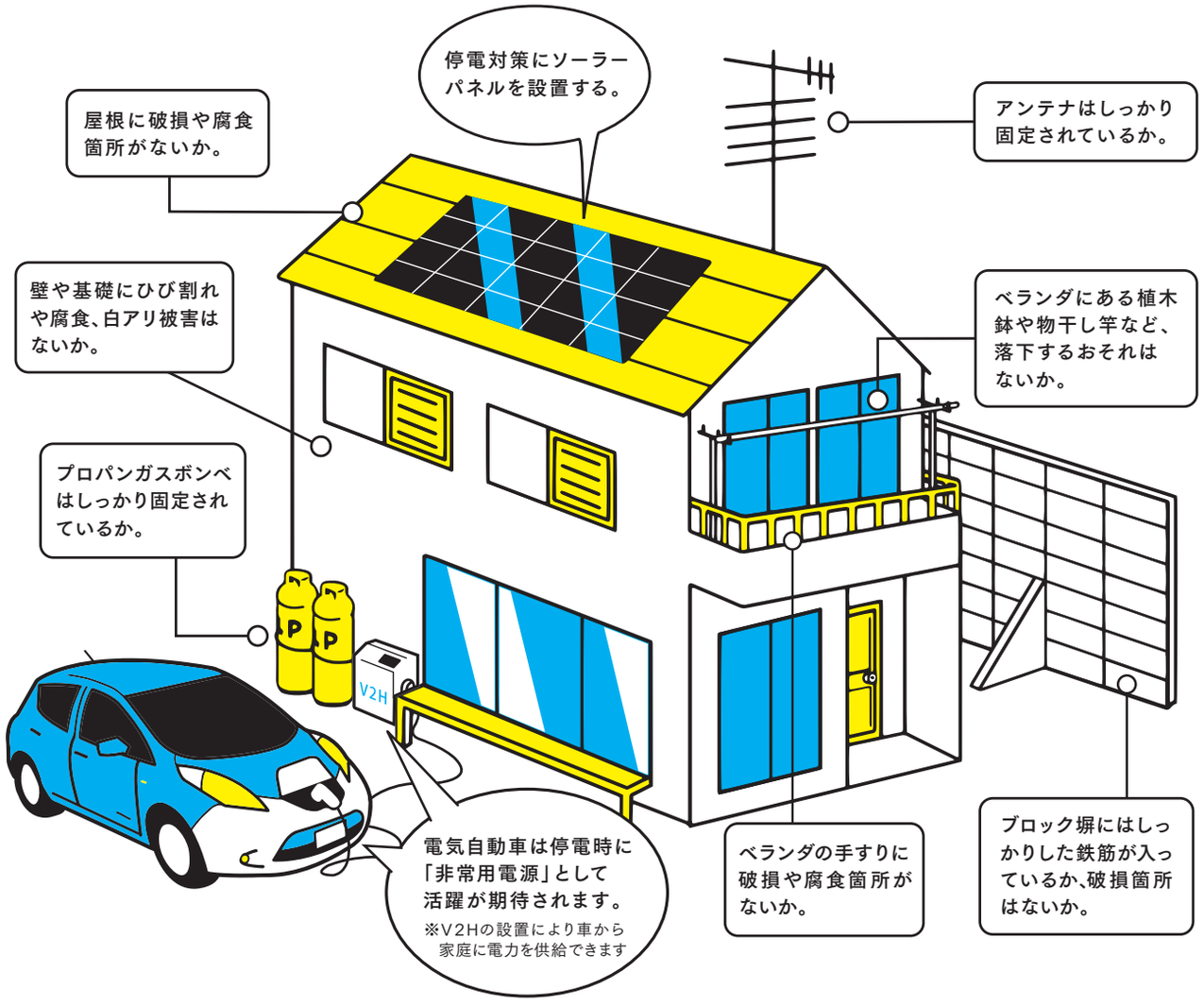
マンションにお住まいの人は、大地震の際に起こり得る特有の被害などについてまとめた「マンションの防災力」もご確認ください。



配布場所 各区役所、危機管理局(市役所7階)

札幌市 マンションの防災力

屋外の備え



木造住宅の耐震化に関する補助制度等

耐震診断・耐震改修に対する助成制度

🔍 札幌市　木造住宅　耐震化　補助

昭和56年5月以前に建築された木造住宅に対して、耐震診断員の派遣、耐震化に要する費用の一部の補助があります。

ブロック塀等の撤去工事補助制度

倒壊の危険性のあるブロック塀等の撤去工事費を補助

🔍 札幌市　ブロック塀　撤去補助

倒壊の危険性のあるブロック塀などのうち、一定の要件を満たすものに対しての撤去工事に要する費用の一部を補助します。

お問い合わせ先　札幌市都市局建築指導部建築安全推進課　TEL:011-211-2867

次世代自動車購入等補助制度

🔍 札幌市　次世代自動車　補助

再エネ省エネ機器導入補助金制度

🔍 札幌市　再エネ省エネ　補助

災害対策にも地球温暖化対策にもなる次世代自動車や太陽光発電などの補助制度があります。

お問い合わせ先　札幌市環境局環境都市推進部環境エネルギー課　TEL:011-211-2872

※お申し込みには期間があります。詳しくは札幌市ホームページでご確認ください。

平時の備え

家庭での備え

物の備えは、避難生活にココロの余裕をもたらします

災害の発生に備えて、札幌市では、あらかじめ最低３日間、できれば1週間分、ご自宅で生活できる食料や水などの備蓄をお願いしています。災害時の不自由な生活を乗り切れるよう、家庭に必要なものを考えて備えておきましょう。

防災コラム 備える重要性

平成30年北海道胆振東部地震では、震災直後に多くの人が水や食料を買い求め、コンビニエンスストアやスーパーの在庫がなくなりました。非常時に困らないためにも日ごろからの備蓄が大切です。



札幌市内コンビニエンスストア

知っておこう！ ローリングストックで日常的に備蓄と更新を

特別な物ではなく、普段使いする食料や日用品を少し多めに買い置きし、使った分だけ買い足すことで常に一定量の備蓄をする方法をローリングストックといいます。ストレスを感じやすい災害時でも、食べ慣れた味に安心できます。



チェックしよう！

以下のリストは最小限、備えておくべきものの例示です。備える品目は各家庭により異なります。一人一人が必要なものを考えて準備しましょう。

非常持出品

すぐに避難できるように最低限必要なものを非常持出品として準備しましょう。
非常持出袋は、**両手が空くリュックサックが便利**です。重すぎないかどうか背負ってみましょう。
衣替えのタイミングで非常持出品も見直す習慣をつけると安心です。

貴重・便利品

電子マネーが使えなくなるかも

- ☐ 現金（10円や100円硬貨を含む）
- ☐ 健康保険証
- ☐ 身分証明証（運転免許証・パスポートなど）
- ☐ 懐中電灯・ヘッドライト（1人1つ）
- ☐ ホイッスル・ブザー（音を出して居場所を伝えるもの）
- ☐ 万能ナイフ
- ☐ スリッパ・上靴
- ☐ レジャーシート
- ☐ 軍手または革手袋
- ☐ マッチまたはライター
- ☐ レインウェア
- ☐ 携帯トイレ
- ☐ アルミ製保温シート



夏は暑さと熱中症の対策も重要です

- ☐ 扇子
- ☐ うちわ
- ☐ ネッククーラー
- ☐ 携帯扇風機
- ☐ 塩飴・塩分タブレット

- ☐ 携帯電話等の充電器・モバイルバッテリー
- ☐ 防寒着
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ タオル
- ☐ 防災ヘルメット

食料

重くなりすぎないように最小限の量

- ☐ 飲料水（500mℓ×2本程度）
- ☐ 非常食・お菓子

衛生

- ☐ 救急セット（ばんそうこう、包帯）
- ☐ 常備薬
- ☐ 洗面用具
- ☐ 生理用品
- ☐ 歯ブラシ
- ☐ 着替え・下着・靴下
- ☐ 消毒液
- ☐ 体温計
- ☐ マスク

備蓄品

災害発生から数日は、普段通りに買い物をできないことが考えられますので、
自分や家族の生活必需品を日ごろから準備しておくと安心です。



食料

- ☐ 飲料水（目安：1人3ℓ×3日分）
- ☐ お菓子
- ☐ レトルト食品・乾麺・即席麺
- ☐ 栄養補助食品

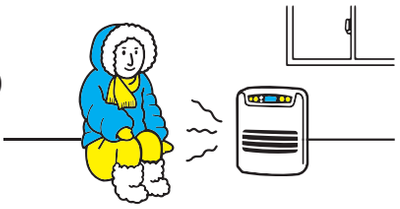
日用品

- ☐ マスク
- ☐ 消毒液
- ☐ 口内洗浄液
- ☐ 新聞紙
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ ビニール袋
- ☐ 段ボール
- ☐ カセットコンロ・ガスボンベ
- ☐ ランタン
- ☐ アルミホイル
- ☐ 食品用ラップ
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ トイレットペーパー
- ☐ 携帯トイレ
- ☐ ドライシャンプー
- ☐ ガムテープ

さっぽろポイント

防寒

- ☐ ポータブルストーブ（電源不要）
- ☐ 湯たんぽ
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 暖かいインナーウェア（タイツ・腹巻など）
- ☐ ウールの靴下
- ☐ ニット帽
- ☐ 防寒着



車載常備品



- ☐ 防寒着・毛布
- ☐ 雨具・長靴
- ☐ スノーヘルパー
- ☐ 手袋
- ☐ スコップ
- ☐ 携帯トイレ
- ☐ 牽引ロープ
- ☐ 脱出ハンマー
- ☐ ブースターケーブル

家族構成や世帯事情に応じて必要なもの

乳幼児



- ☐ ベビーフード
- ☐ 粉ミルク・液体ミルク
- ☐ おむつ
- ☐ おしりふき

乳幼児や授乳婦が災害時に気をつけたい栄養・衛生管理のポイントや、栄養確保のために必要なグッズリストを札幌市ホームページで公開しています。

🔍 札幌市　乳幼児栄養ガイド

高齢者



- ☐ 入れ歯
- ☐ 介護食
- ☐ 大人用おむつ

ペット



- ☐ リード
- ☐ ケージ
- ☐ トイレ用品
- ☐ ペットフード

その他



- ☐ メガネ
- ☐ コンタクトレンズ
- ☐ 補聴器
- ☐ お薬手帳

職場のロッカーに防災グッズを入れておきましょう

- ☐ 歩きやすい靴
- ☐ 携帯電話等の充電器
- ☐ タオル
- ☐ 動きやすい着替え
- ☐ 現金（小銭）
- ☐ ウェットティッシュ



平時の備え

家族会議で考える

いつ発生するかわからない自然災害。そのとき家族が一緒にいるとは限りません。災害時の連絡方法や必要な非常持出品などについて、日ごろから話し合っておきましょう。

自宅や近所の災害リスク

札幌市が発行するハザードマップなどで、自宅周辺の災害リスクを確認しましょう。

▶詳細は5P

災害時の連絡方法

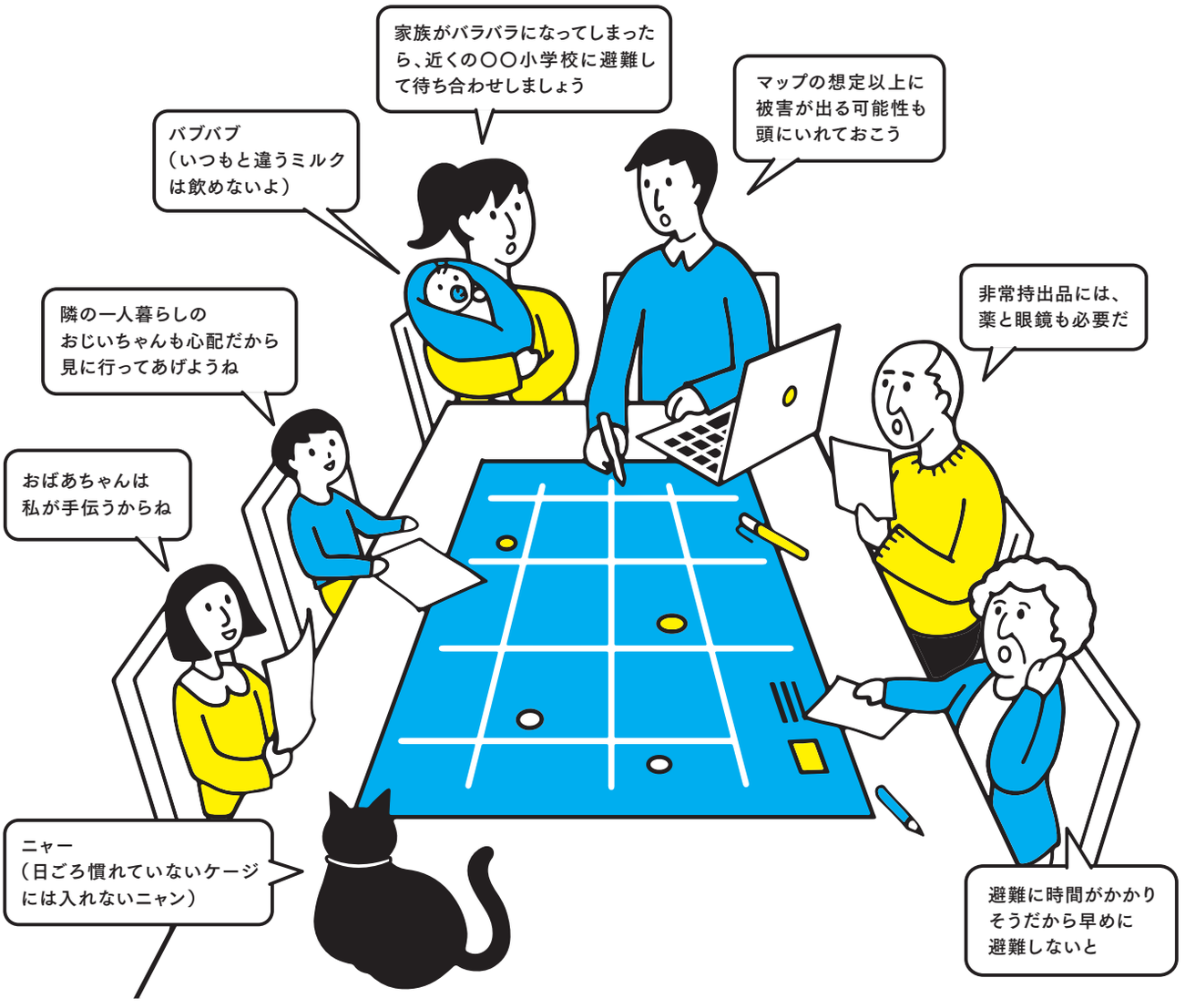
災害用伝言ダイヤル「171」などの使い方を共有しておきましょう。

▶詳細は12P

避難場所、避難経路

災害ごとに避難場所を想定し、共有しておきましょう。

🔍 札幌市　避難場所



自宅の危険箇所

地震で倒れそうな棚はないか、出入口が確保できるかなどを確認しましょう。

非常持出品や備蓄品

それぞれに必要な物を確認しておきましょう。使用期限の確認や季節に応じた必要な物の見直しも習慣にしましょう。

▶詳細は9、10P

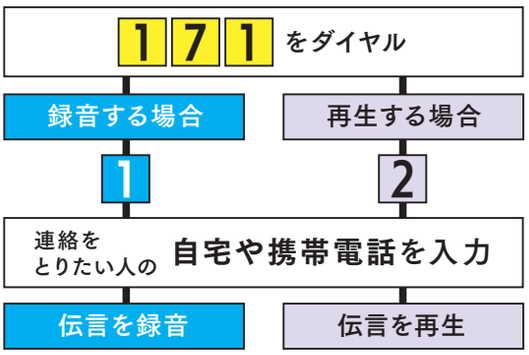
災害用の連絡方法



災害用伝言ダイヤル（171）

電話・携帯電話・スマートフォンで

安否情報（伝言）を音声で録音（登録）し、その音声を再生（確認）できる。「171」に電話をかけ、ガイダンスに従って操作する。





災害用伝言板（web171）

インターネットで

パソコンやスマートフォンなどから伝言板サイトにアクセスする。連絡を取りたい電話番号（携帯電話番号も可）を入力して安否情報（伝言）を登録し、確認できる。

web171

※災害時以外は使用できません。
※携帯電話各社にも同様の伝言サービスがあります。詳しくは携帯電話各社のホームページなどを参照してください。



ペットがいる家庭の心構え

ペットのための備えは、飼い主の責任です。ご自身の安全を確保したうえで、ペットも守りましょう。災害時には人命救助が優先となるため、ペットのための救援物資の到着には時間がかかることもあります。日ごろから以下について備えておきましょう。

- ☐ 備蓄品の準備 ▶詳細は10P
- ☐ 同行避難や避難所生活に備えた「オイデ」「マテ」など制御のためのしつけ
- ☐ 日常の健康管理（避難所での感染症予防のためのワクチン接種を含む）
- ☐ 鑑札やマイクロチップなどで飼い主を明示
- ☐ いざという時の預け先（親戚、ホテル事業者等）の確保



ペットの防災について、詳しくは札幌市保健所発行の「犬と猫の防災手帳」をご確認ください。

配布場所 各区保健センター、動物管理センター

札幌市 犬と猫の防災手帳